

# HAMAGUCHI YOZO SPRING EXHIBITION

## 浜口陽三展 赤と黒・色彩の引力

2016. 2/7 [sun] → 5/8 [sun]

### 展覧会概要

展覧会名—浜口陽三展 赤と黒・色彩の引力  
会期—2016年2月7日(日)～5月8日(日)  
開館時間—平日 11:00～17:00 土日祝 10:00～17:00 (最終入館 16:30 まで)  
[ナイトミュージアム: 会期中、第1・3金曜は 20:00 まで開館、最終入館 19:30]  
\* 第1・3金曜…2/19、3/4、18、4/1、15、5/6の6日間  
入館料—大人 600円 大学・高校生 400円 中学生以下 無料  
休館日—月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)  
2/23(火)は都合により臨時休館いたします。

※3/27(日)は体験教室のため1階会場が観賞しにくくなります。  
※休館日、開館時間、出品作品等は都合により変更する場合がございます。



A

### ごあいさつ

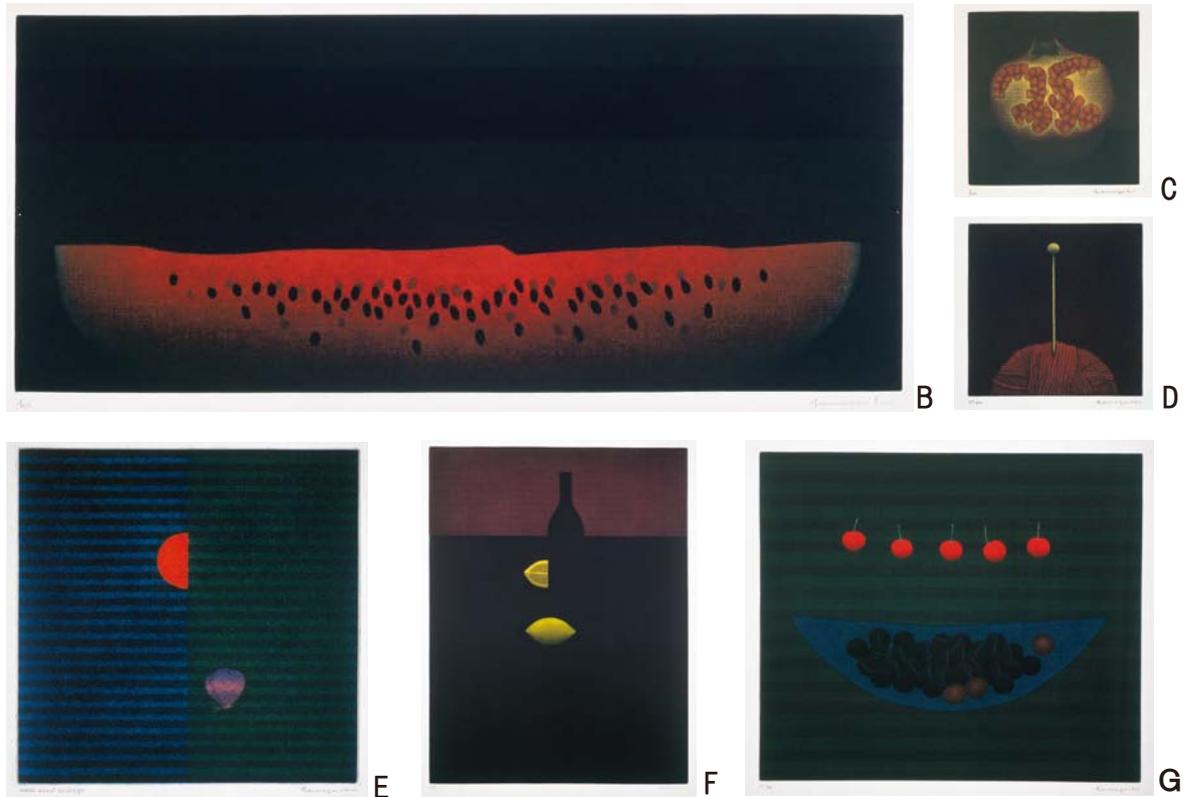
浜口陽三(1909-2000)は20世紀を代表する銅版画家の一人です。戦後、本格的に銅版画に取り組み、独学でメゾチント技法を探究していきます。そして、フランス語ではマニエル・ノワールと呼ばれ「黒の技法」を意味するこの技法に豊かな色彩を取り入れた、唯一無二の作家です。

「14のさくらんぼ」(1966年)は、暗い背景に浮かぶ鮮やかな赤い色が印象的です。その赤い色は、ある時はさくらんぼ、またある時はすいかやざくろ、さらに、てんとう虫や蝶、糸糸、太陽へと自在に姿を変え、浜口陽三の作品の中で生きています。赤は情熱的で、エネルギーやいのちを感じさせる色。蝶が花の蜜にさそわれるように、私たちはその赤い色に本能的に惹きつけられてしまいます。

鮮やかな赤とは対照的に画面の大半を覆う背景の黒。作品を見る目が慣れてくると背景は単調な黒一色ではなく、濃淡があり、赤や青、緑などの色彩が含まれていることに気がつきます。黒は赤を引き立たせると同時に、赤やその他の色によって支えられています。色と色は引力のような力で互いに引き合い、お互いを輝かせているのです。

本展覧会では赤と黒が印象的な「14のさくらんぼ」や「西瓜」を中心に、色彩の魅力を味わえる作品、約60点を展示いたします。複雑に重なり合いニュアンスをもった色彩を、ゆっくりと目でご堪能ください。見るほどに違った味わいが見つかることでしょう。

展示作品



A 「14のさくらんぼ」	1966年	52.3×24.4 cm	カラーメゾチント
B 「西瓜」	1981年	23.3×54.1 cm	カラーメゾチント
C 「ざくろ」	1978年	11.6×11.5 cm	カラーメゾチント
D 「毛糸」	1978年	11.6×11.5 cm	カラーメゾチント
E 「蝶と太陽」	1969年	19.7×19.4 cm	カラーメゾチント
F 「びんとレモンと赤い壁」	1983-89年	62.4×47.5 cm	カラーメゾチント
G 「さくらんぼと青い鉢」	1976年	28.0×32.3 cm	カラーメゾチント

■プレスリリースご担当者様へ■

ぜひ展覧会にお越し下さいませ。  
あわせてご取材いただけますと幸いです。  
画像をご希望の際は、アルファベットを  
お申し付けください。お問い合わせは  
広報担当の柳原までよろしくお願いします。

美術館概要

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

Tel : 03-3665-0251 Fax : 03-3665-0257 Mail : musee@yamasa.com

HP : <http://www.yamasa.com/musee/>

アクセス：東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば

東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

首都高速箱崎1.C[浜町出口]または[清洲橋出口]東京シティエアターミナル駐車場前

## 関連イベント 1: ワークショップ「色を遊ぶ 手織の飾り布」

浜口陽三作品の構図や配色をもとに、0号サイズの木枠を使用してオリジナルの飾り布を織りあげるワークショップです。木枠が額縁となり、そのままご自宅で飾ることができます。織の経験がない方でも参加できるやさしい内容です。

講師—織工房 URIZUN 下地 康子（染織作家）

日時—3/7（月）

【午前の回】10:30～13:00 【午後の回】14:30～17:00

定員—各回10名

持ち物—はさみ、筆記用具

参加費—3000円（入館料・材料費込）

申込—1月21日（木）12:00より電話にて受付開始（先着順）

※休館日の開催ですが、参加の方は展覧会をご覧くださいませ。

※小学校高学年から参加可能。

（ただし小学生の方が参加希望される場合は、大人の方と一緒に申込みください）

※お申込み後、開催直前でのキャンセルはご遠慮ください。



画像はイメージです

—講師紹介—

織工房 URIZUN 下地 康子

沖縄県那覇市首里で生まれ育ち、現在は神奈川県在住。自然から頂く色や素材を使い、ストールを中心に制作しています。 <http://urizun.org/>

## 関連イベント 2: 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカード大の作品を完成させます。初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講師—江本 創（アーティスト）

日時—【A】3/27（日）【B】3/28（月） 時間はいずれも14:00～17:00

定員—各回12名

持ち物—下絵（サイズ12×7.5cm）、汚れてもよい服装またはエプロン

参加費—入館料+1800円（材料費込）

申込—1月21日（木）12:00より電話にて受付開始（先着順）

※3/28（月）は休館日ですが、参加の方は展覧会をご覧くださいませ。

※申込は初めての方優先となります。

※お申込み後、開催直前でのキャンセルはご遠慮ください。



画像はイメージです

## 関連イベント 3: 自分だけの色を見つける、ぬりえワークショップ

浜口陽三は色に対する実験を続けた作家でもあります。同じ構図を色違いで刷りあげた作品がいくつもあります。カラーメゾチントと同様、黄・赤・青・黒の4色の色鉛筆を使い、自分だけの作品をつくる、ぬりえワークショップです。お子様から大人の方まで、来館時にその場で参加することができます。4色でも、組合せ次第で表現は無量大。自由な発想で自分だけの色を見つけてください。

日時—開館中のすべての日

定員—なし（ただし小さな会場の為、参加者が多い場合はお待ちいただくこともございます。）

参加費—1回100円

申込—開館時間中、随時受付（最終受付：閉館時間の30分前）



画像はイメージです